

開講学科		前橋工科大学 シラバス																																																
科目名	建築図学	標準対象年次	選択/必修	科目コード																																														
		1年次	選択	14100201																																														
担当教員	石川 恒夫	単位数	学期	曜日	時限																																													
		2単位	前期	月曜日	2時限																																													
授業の教育目的・目標	<p>目的：設計製図への導入として、基本的な作図ルール of 習得。 目標：平面図法、立体図法の理解と作図技法の習得。</p>																																																	
学科の学習・教育目標との関係	<p>c. 記述能力、描画能力ものを作る能力を通して、自分の考えを表現することができる。 d. 人間のスケールを実感として理解する。 e. 素材の特性を理解し、適正に用いることができる。</p>																																																	
キーワード	透視図法、プラトン立体、設計製図、立体図形																																																	
授業の概要	<p>線分、角度の分割、プラトン立体、図法の描き方に加え、建築物の内外部を立体的に表現することを学び、空間感覚を育むことを目標とする。そのために、一点透視図法、二点透視図法、アクソメトリックスなどの論理的な図法を習得する。これらの表現能力を身に付けることにより計画のスタディ段階では計画案を自己チェックすることが可能となり、さらにプレゼンテーションの場面では、第三者に設計者のイメージを的確に伝えることが可能となろう。</p>																																																	
授業の計画	<table border="1"> <tr><td>第1回：</td><td>概論「立体をおこす」</td><td></td></tr> <tr><td>第2回：</td><td>フリーハンドで描く</td><td></td></tr> <tr><td>第3回：</td><td>星型8面体の投象</td><td></td></tr> <tr><td>第4回：</td><td>円と五角形、12面体</td><td>12面体のモデル（ホームワークHW）</td></tr> <tr><td>第5回：</td><td>矩形と黄金比</td><td>12面体の正投象（HW）</td></tr> <tr><td>第6回：</td><td>転跡線（3種類）</td><td>立方体の展開図（HW）</td></tr> <tr><td>第7回：</td><td>円とサイクロイド</td><td>クライス・ジオメトリー（HW）</td></tr> <tr><td>第8回：</td><td>近似楕円とサイクロイド</td><td></td></tr> <tr><td>第9回：</td><td>らせん階段</td><td></td></tr> <tr><td>第10回：</td><td>斜投影〔アクソメ+陰影〕</td><td></td></tr> <tr><td>第11回：</td><td>透視図法1（外観、二点透視）</td><td></td></tr> <tr><td>第12回：</td><td>透視図法2（外観）</td><td></td></tr> <tr><td>第13回：</td><td>透視図法3（外観）</td><td></td></tr> <tr><td>第14回：</td><td>透視図法4（内観・拡大法、一点透視）</td><td></td></tr> <tr><td>第15回：</td><td>まとめ</td><td>夏休み課題（絵日誌）</td></tr> </table>					第1回：	概論「立体をおこす」		第2回：	フリーハンドで描く		第3回：	星型8面体の投象		第4回：	円と五角形、12面体	12面体のモデル（ホームワークHW）	第5回：	矩形と黄金比	12面体の正投象（HW）	第6回：	転跡線（3種類）	立方体の展開図（HW）	第7回：	円とサイクロイド	クライス・ジオメトリー（HW）	第8回：	近似楕円とサイクロイド		第9回：	らせん階段		第10回：	斜投影〔アクソメ+陰影〕		第11回：	透視図法1（外観、二点透視）		第12回：	透視図法2（外観）		第13回：	透視図法3（外観）		第14回：	透視図法4（内観・拡大法、一点透視）		第15回：	まとめ	夏休み課題（絵日誌）
第1回：	概論「立体をおこす」																																																	
第2回：	フリーハンドで描く																																																	
第3回：	星型8面体の投象																																																	
第4回：	円と五角形、12面体	12面体のモデル（ホームワークHW）																																																
第5回：	矩形と黄金比	12面体の正投象（HW）																																																
第6回：	転跡線（3種類）	立方体の展開図（HW）																																																
第7回：	円とサイクロイド	クライス・ジオメトリー（HW）																																																
第8回：	近似楕円とサイクロイド																																																	
第9回：	らせん階段																																																	
第10回：	斜投影〔アクソメ+陰影〕																																																	
第11回：	透視図法1（外観、二点透視）																																																	
第12回：	透視図法2（外観）																																																	
第13回：	透視図法3（外観）																																																	
第14回：	透視図法4（内観・拡大法、一点透視）																																																	
第15回：	まとめ	夏休み課題（絵日誌）																																																
受講条件・関連科目	<p>受講条件：建築設計製図との出会いであり、前期に同時開講される建築設計基礎Iと連動する。他学科履修を希望する場合、座席に余裕がある場合に許可される。</p>																																																	
授業方法	毎回、課題説明の後、実習を行う。																																																	
テキスト	<p>「建築図学」佐藤平、谷村秀彦、共著 理工学社（1995） 「建築図学概論」近江栄他 彰国社（1991）</p>																																																	
成績評価	<p>・期末試験（ % ） ・レポート（ % ） ・その他（作図課題）（100%） ・小テスト（ % ）</p>																																																	
履修上の注意	<p>選択科目ではあるが、設計を学ぶ学生にとっての必修教科である。 実習のときは、製図道具（定規、コンパスなど）一式持参のこと。 演習ノートを使用する。</p>																																																	